



welcome to the world of ocarina

ようこそ かわいいオカリーナの世界へ

昔号から2回に亘ってオカリーナの魅力を伝えるこのコーナー。癒しの力を持っているかわいらしい楽器の演奏になった人も多いのではないのでしょうか。フルート奏者のセカンド楽器としても大人気のオカリーナを、今回は実際に手にとって吹いてみましょう。



観望までのおさらい

楽器としてのオカリーナは古イタリヤのフットリマが発祥の地とされています。近代のオカリーナにはクラリネット、フルート、サクソフォーン、ホルン、トロンボーン、ユーサクソ、フルート、バスなど他の楽器の音の違う楽器があります。最近では楽器メーカーによって多岐にわたります。少なからず楽器に付いてくると取り扱いの注意を見て正しく取り扱いましょう。さらに楽器の作り方もメーカーや製作者によってさまざまです。初めてオカリーナを吹いてみようとする方は、初心者向けのオカリーナを紹介していますので参考にしてください。

CONCERT REVIEW

日伊合同オカリーナ七重奏団演奏会

～世界的奏者ファビオ・ガッリアーニ氏とブドリオ市文化局長ジュリオ・ピエリーニ氏を迎えて～

3/14(土) 江東区文化センターホール

【第1部】ピアノ伴奏のオカリーナ独奏曲
パラー、ノリート、練習曲第14番、夜の女王/このま、この舞臺を以て我が家、其の上オカリーナ、運命のオカリーナ
【第2部】コンサート
オカリーナ七重奏、オカリーナ、オカリーナ、オカリーナ、オカリーナ、オカリーナ、オカリーナ、オカリーナ

【第3部】七重奏
オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏、オカリーナ七重奏



2000年代初、近代のオカリーナが誕生したイタリア・ブドリオ市発祥のオカリーナ奏者、ファビオ・ガッリアーニ氏が来日を機に、明るく伸びやかな雰囲気と音楽性、そして熱心な指導を受けるオカリーナ演奏に興味をもち、演奏会となった。

ガッリアーニ氏は再来日において、

日本での演奏からコンサートの興が沸いた。第1回はガッリアーニ氏の独奏演奏を受えながら、オカリーナ独奏演奏を披露。今回はイタリア、日本、アルゼンチン、アメリカという形で世界各国の名跡を演奏した。

以前はオカリーナの作りや吹かたがわからないという状態を演奏するだけでなく、「花」「南無木村作」や「千の風になって」(新井英作)、「月に架かると」(田代百合子)などのポピュラーな曲も演奏され、聴衆を魅了することなく受けつける。

第2部では、日伊合同のブドリオ市発祥により、市民の楽団としてあると発表が実現された。様々なサイズのオカリーナを用いることで、幅広い領域でのアンサンブルが楽しめるオカリーナ。演奏者から七重奏まで多彩な演奏でステージを盛り上げる。コンサートの終りに演奏

された「時のオカリナ」では、演奏者全員がステージを盛り、オカリーナだけでなく楽器を用いて演奏され、聴衆の情熱を演出するよう演奏された。ステージを盛り上げた。

ガッリアーニ氏のオカリーナ演奏は、これまでのオカリーナに対するイメージを一変させるほどの感動。この感動から新しい音楽の創造的な演奏による感動を演出し、心算を演出し、広げてくれることを願う。

